細工人形の見どころ

胴殻～かたち

人形の衣服のシルエットを形成し、装飾のベースとなるのが胴殻と呼ばれる部分です。胴殻は、藁で包んだ竹ヒゴに糸を螺旋状に巻いたもの（巻藁）を組み合わせて作られます。竹ヒゴの角ばった切り口がカバーされた巻藁は、滑らかな曲線を描く衣服の表現に適しています。舞台上に再現する場面についての知識はもちろん、それを造形に落とし込む表現力も求められるため、胴殻作り（殻組み）は最も熟練を要する工程です。

細工～かざり

胴殻が完成したら、紙貼りをしてマス目をふさぎ、装飾（細工）をほどこします。自然の素材の持ち味を活かしつつ、組み合わせや配置を工夫して、洗練されたデザインに仕上げていきます。一見した限りでは何で作られているのか分からず、細部を観察してはじめてモチーフの正体に気づくような意外性こそが、細工人形の真骨頂です。素朴な材料と鮮やかな出来栄えとのギャップが大きければ大きいほど、面白味が増します。

文・伊藤加奈子

道三の羽織の襟にあしらわれた昇り鯉。さまざまな貝を組み合わせて作られている。

細工をほどこした後、頭と手足、小道具を取り付けて完成する。

胴殻のマス目に沿って市松文様状に新聞紙を貼り（巻き紙）、これを糊台にして下張り・上貼りをする。

羽織袴姿の胴殻。身分や職業、時代にふさわしい意匠を選び、自然な動作をつけて立体的に作るのが難しい。

材料

近場で集められる山海の自然物を自然のまま使用する。ゴマ殻、竹、松笠、貝殻も多く使用される

チンメ貝

ヒオウギ貝

しじみ

竹

ゴマ殻

松　笠

略年譜

- **安政4年 1857** 宝満寺薬師如来御開帳【第一回細工人形展】　作者は寺子屋・永寿堂を営んでいた加藤佐七とされる
- **明治5年 1872** 光明寺大日如来御開帳【第二回細工人形展】
- **明治9年 1876** 宝満寺薬師如来御開帳【第三回細工人形展】
- **明治26年 1893** 柳池院大日如来御開帳【第四回細工人形展】　自然の素材だけを使って装飾する吉浜ならではの形式が確立されたと伝わる
- **明治35年 1902** 宝満寺薬師如来御開帳【第五回細工人形展】　柳池院の花のとうで細工人形の展示始まる
- **明治39年 1906** このころ佐七の孫・加藤弥七ら吉浜の人たちが菊人形の仕事に参加するようになる
- **明治42年 1909** 柳池院大日如来御開帳【第六回細工人形展】　小屋ごとに決められた素材のみを使う、いわゆる一式細工で人形は実物大より大きく作られていたとされる
- **大正13年 1924** 刈谷城址で開催の中部日本興国産業博覧会にて吉浜と小垣江の細工人形が展示される
- **昭和3年 1928** 宝満寺薬師如来御開帳・柳池院伝教大師一千百年法要【第七回細工人形展】
- **昭和9年 1934** 柳池院大日如来善光寺如来御開帳・宝満寺薬師如来御開帳【第八回細工人形展】
- **昭和30年 1955** 吉浜細工人形芸術保存会（現在の吉浜細工人形保存会）が発足
- **昭和39年 1964** 「吉浜細工人形つくり」が愛知県無形文化財に指定、これを記念して細工人形展を開催

農民芸術の最高峰

愛知県指定無形文化財

吉浜細工人形

よしまちネット
第50号
令和3年（2021）
吉浜まちづくり協議会
監修　伊藤 加奈子

ちょうどいいまち　ちょっといいまち　これまでもこれからも
2020高浜市50th

吉浜では、毎年五月八日前後に行われる行事「花の塔」に際して、屋敷町の柳池院と宝満寺に細工人形を奉納します。細工人形とは、木の実や貝殻などの自然の素材で飾った等身大の人形を使い、歌舞伎やドラマの名場面、歴史上の出来事などを再現するものです。現在は、吉浜細工人形保存会のメンバーを中心に地域で協力して制作にあたり、約一カ月半を費やして完成させています。

言い伝えによると、細工人形の起源は安政四年（一八五七）に行われた宝満寺の御開帳（普段は非公開の仏像などの拝観が特別に許される行事）に際して飾られた造り物とされています。それから約五十年後の明治三十年代後半には、細工人形で培った素養を活かして菊人形作りに携わる人たちが現れました。そして、わずか数年後には、東は東京、西は九州の菊人形会場まで出向いて仕事をするようになります。また、細工人形作りは、ごく近年までの長い間、菊師（人形の衣装を菊で作る職人）として働いた経験を持つ人たちを中心に営まれてきました。このように、吉浜では細工人形と菊人形とが歴史上だけでなく、技術的にも深く結びついています。

明治４２年の柳池院大日如来・善光寺如来御開帳に合わせて行われた第６回細工人形展の保存会所蔵番付（リーフレット）。『三国妖婦伝』の場面は「柳」、『児雷也豪傑譚』の場面は「松」、『市原野』の場面は「竹」だけを使って人形が作られた。

高浜市市制５０周年を記念して「伝統と文化を継ぐ郷土のまつり」を制作
えんちょこ獅子・銭太鼓・おまんとを柳池院に、射放弓・巫女・ちゃらぼこを宝満寺に奉納展示